



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

国際ロータリー会長 カルヤン・パネルジー
第2730地区ガバナー 長峯 基
鹿児島市内分区分ガバナー補佐 梶 茂吉

2011~2012年度
国際ロータリーのテーマ

こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

事務局・例会場 鹿児島東急イン 会長 小山田 吉治
〒890-0053 鹿児島市中央町5-1-9F 会長エレクト 野元 博志
TEL 090-5295-2736 幹事 高良 次男
FAX 099-251-5290 編集 会報・広報委員会
例会日 毎週木曜日 12:30~13:30

Eメール kswrc@po5.synapse.ne.jp ホームページ <http://www.ri2730.org/southern/>

第694回例会 平成24年2月2日(木) プログラム「職場訪問例会 マナーハウス島津重富荘」

Vol. 16-28

前回第693回例会(1月26日(木))の報告 於: 東急イン

【会長アドレス】会長 小山田吉治

24日のロータリー大学は、久しぶりの夜の会で、参加した皆さんの表情が、とても楽しそうに写りました。いい雰囲気クラブだと、改めて思う夜でした。席が川原さんの隣でしたので、ロータリー談義で盛り上がりましたが、その中で、最近の会員の減少が顕著なクラブのことを考えていました。歴史もあり、立派なロータリアンを多く抱えているにもかかわらず、会員が減少して、クラブの運営もままならないクラブもあると聞いています。この原因は、どこにあるのでしょうか?



会員数の多いクラブと少ないクラブの差は、どこにあるのでしょうか?などと考えながら話をしていました。

そして、会話は、話を聞いてくれる人が居ないと成り立たないことに気づきました。立派なロータリアンは、立派なお話をされますが、その話を聞いてくれる人が居ないと、独り言になってしまいます。また、ただ話を聞くだけで、何を言おうとしているのかを理解できないと、話を聞いた事にはならないんだと考えました。そして、話を聞く能力が大切なんだという観点で、会員数の減少したクラブには、立派な話の出来る会員さんは居たけれど、話を聞ける会員が少なかったのかもしれないと、勝手に解釈していました。

このクラブは、元気がある、勢いがあると良く耳にしますが、新しい会員さんの話を、皆さんが良く聞いてくれることが、大きな要因ではないでしょうか。

今年のテーマ、「ロータリーを学ぼう!そしてロータリーを楽しもう!」を実行するには、「ロータリーの話聞こう!」ということも大切かもしれません。

私は元々話好きで、仕切りたがり屋ですので、皆さんの優しさに守られて、現在があると、思っています。会長として、毎週例会で話をする機会に恵まれていること、そして皆さんがいつも聞いて下さることに感謝し、本日のアドレスとします。

【会務報告】幹事 高良次男

- ①鹿児島市内RC会長・幹事会が、2/10(金) 18:30~ 山形屋にて行われます。
- ②地区大会の宿泊者の確認 2/24 2名、2/25 13名

【ビジター】鹿児島西RC 徳留忠敬君(写真)

【米山記念奨学会寄付】1/26 佐藤俊一君

【ニコニコBOX】

◆平田宗興君

観梅会の案内を入口に置いてあります。宜しく願います。2/18(日) 児玉美術館
《ニコニコBOX累計額 ¥198,000-》



《次回(第695回)例会のお知らせ》

日時: H24年2月9日(木) 12:30~13:30
場所: 東急イン2F
プログラム: 会員卓話「私の経験談」
赤塚晴彦君・押井啓一君

出席報告	会員数	出席数	出席率%
第693回1月26日(木)	47	32	68.09
第691回1月12日(木)訂正	47	41	87.23

市内他RC例会プログラム ★は記帳受付有

鹿児島RC 2/3(金) 会員卓話 有菌国際奉仕委員長 山形屋
中央RC 2/6(月) 「記念式典を振り返って」 山形屋
東南RC 2/7(火) クラブフォーラム サロヤル
城西RC 2/7(火) ゲスト卓話 前田広人様 東急イン
南RC 2/8(水) 卓話 淵脇哲朗様 サロヤル
西RC 2/8(水) クラブフォーラム(国際奉仕) 山形屋
西南RC 2/8(水) 外部卓話 ゆうづき
東RC 2/9(木) 25周年記念式典を振り返り 卓話 山形屋
北RC 2/9(木) 会員卓話 東急ホテル

鹿児島サザンウインドロータリークラブ

2011~2012年度 クラブテーマ 「ロータリーを学ぼう!そしてロータリーを楽しもう!」

社会奉仕委員会より

世界寺小屋運動

「書き損じハガキ・キャンペーン 2012」～すべての人に教育を～へのご協力をお願いします。

書き損じハガキとは、未投函の郵便ハガキ(年賀ハガキを含む)のこと。また、未使用切手や未使用テレホンカードの回収も行っています。50円の書き損じハガキ1枚は、45円分の募金になりインドでは、石板1枚、カンボジアではチョーク80本、アフガニスタンではえんぴつ6本が買えます。書き損じハガキ→鹿児島ユネスコ協会(新しい切手)→ユネスコ・世界寺子屋運動に寄付



【プログラム】会員選考・研修委員会担当

1月は「ロータリー理解推進月間」

「知ること≒理解すること」

クラブ会員には、ロータリーについて知識と理解を一層深めてもらい、対外的には広報活動を通じて一般市民にもロータリーのことをよく理解してもらうためのプログラムを実施、推進する月間である。

川原会員：永続する組織は、学ぶことに努力している。企業でも同じではないでしょうか。また、ロータリーは100年の歴史を経て、現代社会のニーズに応え、更に発展するようもっと機能的で活力ある組織に生まれ変えなければならない。そのために、ロータリーの理念とビジョンと活動をさらに明確にして現代社会の変化に適応できるようにする事が大事である。

ロータリーの使命と綱領の再認識

(第2580地区 佐藤千尋PG(東京東RC)より)

小学校で話す「ロータリーの綱領」ロータリーの目的「どんな職業でも」利益は奉仕に対するご褒美として捉えられるものでなければならない」というのが、ロータリーという「奉仕の理想」である。だから、そういう理想をさらに一層深めて、これを世界中に広げていくことが、私たち会員の目的であり、そのためには特に次の四つのことが大切である。

- ①こういう奉仕の理想に賛成してくれる仲間をたくさん増やすこと。
- ②誰から見ても道徳的に怪しまれることがないよう、誠実に良心的な仕事をすること。
職業上の取引は対等であって、仕事に上下の差はない
—いつもお互いに相手の立場を尊重し感謝すること。
社会に奉仕するための職業なのだから、自分の職業は品位あるものでなければならない。



- ③私たちは会員は個人的な日常生活でも職場でも、また広く社会的な関係も、常にみんなのためになるかどうかを考え、奉仕の精神で行動しなければならない。
- ④こういう奉仕の理想を身につけて、それぞれの仕事に精出している世界中の人々と友達になり、相手の国のこともよく理解しあい、戦争のない平和な世界をつくること。

～第693回例会(1/26)での表情～

